

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 教育総務課 総務係 事務事業番号 132020201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	学校教育振興事業	1	理科教育設備整備事業			政策的
	小・中学校における理科教育の充実を図るため、国の補助制度を活用し、理科の授業で使用する実験器具等を整備する。				対象	全小・中学校	
					手段	学校の要望に基づき、整備	
				意図	理科教育の実践のための環境整備		

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
				校用器具費	6,295千円	校用器具費	2,125千円	校用器具費		
						新学習指導要領改訂増加(中))			(小学校)	2,761千円
									(中学校)	1,561千円
	合計				6,295千円		2,125千円			4,322千円
財源内訳/割合	国庫支出金				3,121千円			1,061千円		2,160千円
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源				3,174千円			1,064千円		2,162千円
合計				6,295千円		2,125千円			4,322千円	
人工数	0.00人			0.35人	2,030千円	0.15人		868千円		
総経費				8,325千円		2,993千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	整備した実験器具等の数	活動		-	-	57
2	市内小・中学校の平均整備率(国の基準金額と比較)	活動		38%	39%	40%
					40%	
					102.6%	
3						

成果	中学校の学習指導要領の改訂に対応するための備品を整備することができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	補助率1/2の事業であるため整備率を大幅に上げることは難しいが、国が示す重点設備を中心に整備し、理科教育の充実を図る。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 132020323

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	3	学校施設整備事業	23	高千帆小学校校舎整備事業	2-(1)		政策的
					2-(3)		
高千帆小学校の校舎は平成16年に現在の管理棟が完成し、令和元年度は普通教室19教室と特別支援学級5教室で運営を行っている。高千帆小学校の児童数は令和7年にかけて現在の617人から698人への増加が見込まれており、このままでは令和5年度からの学級数に対応できず学校運営が出来なくなるため新校舎を建設する。また令和4年度に児童数の増加により普通教室が不足するため管理棟1Fの特別支援教室を普通教室に変更する。					対象	高千帆小学校の施設	
					手段	高千帆小学校の校舎を建設する	
					意図	良好な教育環境を維持する	

事業期間	R1 年度	～	R4 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	実施設計業務委託料	14,430千円	実施設計業務委託料	12,705千円	工事請負費(建築主体・機械設備・外構工事等)	253,669千円	工事請負費(配膳室改造)	596千円
			地質調査業務委託料	9,603千円	工事請負費(電気設備工事)	17,100千円	工事請負費(建築主体・機械設備工事)	401,930千円
			家屋調査委託料	2,530千円	設計意図伝達業務	1,600千円	工事請負費(電気設備工事)	28,314千円
			手数料	619千円	補償金	249千円	設計意図伝達業務委託	3,900千円
			工事請負費	219千円	消耗品	87千円	工事監理業務委託料	8,250千円
				千円			備品購入費	7,286千円
				千円			その他(手数料、消耗品費、水道加入料付金)	1,465千円
合計	14,430千円		25,676千円		272,705千円		451,741千円	
財源内訳/割合	国庫支出金					54,232千円		108,313千円
	県支出金					3,820千円		5,732千円
	地方債	2,400千円		14,400千円		169,900千円		262,700千円
	その他							
	一般財源	12,030千円		11,276千円		44,753千円		74,996千円
合計	14,430千円		25,676千円		272,705千円		451,741千円	
人工数 人件費	0.40人 2,310千円		0.78人 4,523千円		1.10人 6,362千円			
総経費	16,740千円		30,199千円		279,067千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	高千帆小学校校舎建設	活動	設計着手	設計	着工	工事
			着手済	完了	着工済	
			100%	100%	100%	
2						
3						

成果	高千帆小学校の児童数は増加が見込まれているため、令和2年度は図工室、令和3年度は特別支援教室を普通教室に転用した。普通教室の不足を解消するため令和2年度に実施設計が完了し、令和3年度に工事に着工した。				
R5年度に向けた課題及び改善策	普通教室棟の完成により教室の不足は解消される。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	完了	コスト	R4
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校給食センター 管理係 事務事業番号 132020502

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
5	学校給食事業	2	学校給食費管理事業					行政内部管理
事業概要	令和2年度に学校給食管理システム構築等の導入作業を行い、令和3年度から学校給食費を公会計し、市が管理・徴収業務などを行う。				対象	児童生徒の保護者		
					手段	学校給食費会計の管理		
					意図	教員の負担軽減と学校給食費会計の透明性の向上		

事業期間	R2 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳			印刷製本費	585千円	消耗品費、印刷製本費	221千円	消耗品費、印刷製本費	482千円
					通信運搬費、手数料	1,583千円	通信運搬費、手数料	2,562千円
					学校給食費管理システムサービス保守委託料	462千円	電算保守委託料	462千円
					クラウドサービス導入等賃借・利用料	1,584千円	機械器具借上料	924千円
					賄材料費	251,937千円	システム利用料	660千円
							賄材料費	269,589千円
合計				585千円		255,787千円		274,679千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				雑入	248,710千円	雑入	267,196千円
	一般財源				585千円	7,077千円		7,483千円
合計				585千円	255,787千円		274,679千円	
人工数	人件費		1.20人	6,959千円	1.20人	6,940千円		
総経費				7,544千円		262,727千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	学校給食費の収納率	成果			100% 98.9% 98.9%	100%
2						
3						

成果	公会計化に伴い、教職員の負担軽減や学校給食費の透明性の向上につながった。また、口座振替取り扱い金融機関が増え、コンビニ納付や電子決済など、保護者の利便性が向上した。				
R5年度に向けた課題及び改善策	未納者については、電話連絡や催告書を送付するなどに対応している。今後は、法的措置も検討していく。また、経済的な理由で納付が困難な負担者に対しては、就学援助制度等の周知を行う。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校給食センター 管理係 事務事業番号 132020504

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
5	学校給食事業	4	学校給食配送業務委託事業				行政内部管理
事業概要	学校給食センターで調理した主食、主菜、副菜の配送及び使用した食器、食缶の回収については、センター稼働時(平成30年9月)から、民間業者と業務委託契約を締結し、実施している。 この業務委託が令和3年7月をもって契約期間が満了となり、令和3年8月に従前の委託業者が入札により決定し、契約を締結した。				対象	学校給食配送業務	
					手段	入札による業務委託業者の決定	
					意図	学校給食配送を実施する	

事業期間	R3 年度	～	R3 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳					給食配送委託料	35,332千円		
	合計					35,332千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					35,332千円		
合計					35,332千円			
人工数	人件費				0.02人	116千円		
総経費						35,448千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	学校給食の配送	成果			実施 実施 100%	
2						
3						

成果	2学期からの給食提供に支障がないように配送業務を継続している。				
R5年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	完了	コスト	R3
特記事項	令和4年度から経常的経費に予算を計上している。				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020713

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	7	学校ICT環境整備事業	13	GIGAスクール推進事業	2-(3)		政策的
	令和2年度にGIGAスクール構想の実現により、学校の教室で、無線LAN環境が整い、児童生徒1人1台ずつタブレット端末を整備。令和3年度は、端末を活用して有効な授業ができるようにGIGAスクールサポーターを配置し、令和4年度以降は、ICT支援員を配置する。授業支援や研修等を行い、ICTを活用した授業をサポートする。				対象	小・中学校	
				手段	GIGAスクールサポーターの配置、通信運搬費等の負担		
				意図	学校が端末を活用した授業ができる環境を整える。		

事業期間	R2 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
支出内訳	R1(決算額)			R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
				工事委託料	119,014千円	通信運搬費	23,125千円	通信運搬費	24,786千円
				機械器具費	348,555千円	人材派遣委託料	6,765千円	システム保守委託料	263千円
				通信運搬費	4,972千円	システム保守委託料	263千円	人材派遣委託料	16,350千円
				GIGAスクールサポーター委託料	2,448千円	電算委託料	1,484千円	修繕料	1,000千円
				消耗品費	760千円	修繕料	162千円	機械器具費	1,961千円
				合計	475,749千円		31,799千円		44,360千円
財源内訳/割合	国庫支出金		1/2,10/10	329,775千円	1/2	3,382千円	1/3,10/10	44,360千円	
	県支出金								
	地方債		100%	63,200千円					
	その他								
	一般財源			82,774千円		28,417千円			
合計			475,749千円		31,799千円		44,360千円		
人工数	人件費		0.55人	3,181千円	0.55人	3,181千円			
総経費			478,930千円			34,980千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	タブレット端末の整備台数、小・中学校・教員予備含む	活動		5,340台	5,340台	5,340台
				5,340台	5,340台	
				100%	100%	
2	GIGAスクールサポーター配置人数	活動		1名	2名	2名
				1名	2名	
				100%	100%	
3						

成果	全ての児童生徒に一人一台の端末を整備するとともに、校舎内のLAN整備や、Wi-Fi環境のない家庭にモバイルルーターを貸し付けることができ、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休校措置に対しても、オンラインでつながり、児童生徒の学びを保障することができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	破損等への対応と、情報モラル教育の推進やフィルタリングの強化に努めていく必要がある。併せて、通信運搬費の公費負担、GIGAスクール運営支援センターの検討が必要。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020801

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	8	特別支援教育支援事業	1	特別支援教育支援員配置事業			政策的	
	特別な支援が必要な小・中学生が在籍し、担任だけでは対応しきれない状況にある学級で、学習支援を行うとともに、学級運営を安定化させるため、特別支援教育支援員を配置する。				対象	特別な支援が必要な児童生徒が在籍している学級		
					手段	特別支援教育支援員の配置		
				意図	適切な学級運営の確保			

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般			
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)						
	保険料	132千円	保険料	130千円	保険料	126千円	保険料	145千円					
	特別支援教育支援員	6,213千円	特別支援教育支援員	7,726千円	特別支援教育支援員	7,714千円	特別支援教育支援員	8,611千円					
	業務委託料		業務委託料		業務委託料		業務委託料						
	合計	6,345千円	合計	7,856千円	合計	7,840千円	合計	8,756千円					
	財源内訳/割合	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	6,345千円	7,856千円	7,840千円
人工数	0.15人	870千円	0.15人	870千円	0.14人	810千円							
総経費	7,215千円	8,726千円	8,650千円										

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	特別支援教育支援員の配置人数	活動	18人	20人	20人	20人
			23人	20人	21人	
			127.8%	100%	105.0%	
2						
3						

成果	特別支援員の配置により、特別な支援を必要とする児童生徒に対して合理的配慮を行うことができ、当該児童生徒ばかりでなく学校全体の教育活動の充実につながった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	特別な支援を必要とする児童生徒が増えており、障害者差別防止法により義務付けられた合理的配慮を実施するために、特別支援教育支援員のニーズは高まり、拡充が必要である。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020802

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	8	特別支援教育支援事業	2	特別支援補助教員配置事業			政策的
	障害の程度が重い児童・生徒が多く通学する松原分校で、学習支援を行うとともに、学級運営を安定化させるため、特別支援補助教員を配置する。				対象	松原分校小学部・中学部	
					手段	補助教員の配置	
意図					適切な学級運営の確保		

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般		
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)					
	保険料		7千円	保険料		7千円	保険料		7千円	保険料		7千円
	特別支援補助業務		1,140千円	特別支援補助業務		1,158千円	特別支援補助業務		1,151千円	特別支援補助業務		1,204千円
	委託料			委託料			委託料			委託料		
	合計		1,147千円		1,165千円		1,158千円		1,211千円			
	財源内訳/割合	国庫支出金										
	県支出金											
	地方債											
	その他											
	一般財源		1,147千円		1,165千円		1,158千円		1,211千円			
	合計		1,147千円		1,165千円		1,158千円		1,211千円			
人工数	人件費		0.03人	174千円		0.03人	174千円		0.03人	174千円		
総経費			1,321千円		1,339千円		1,332千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	特別支援補助教員の配置人数	活動	1人	1人	1人	1人
			1人	1人	1人	
			100%	100%	100%	
2						
3						

成果	松原分校には様々な障害のある児童生徒が通学しており、担任の教員だけでは十分に支援できないことについて、特別支援補助教員が児童生徒の安全確保や個別の支援に対応することができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	障害者差別解消法に基づく合理的配慮を行うため、特別支援補助教員の配置は引き続き必要である。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020903

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
9	教職員の資質向上事業	3	外国語教育推進事業		2-(3)		政策的
事業概要	ALT(外国語指導助手)を小・中学校に派遣し、教員と連携した授業を実施して英語教育の充実を図っている。学習指導要領が改訂されたため、平成30年度から、小学校5・6年生の「外国語」と、3・4年生の「外国語活動」の試行を始めた。令和2年度の本格実施に必要なALTを確保するため、令和元年度からALTを3人から5人に増員し、かつ処遇改善を図っている。				対象	小・中学校児童生徒	
					手段	ALTを公募により採用し、学校に派遣する。	
					意図	ALTと触れ合うことで、外国語に親しむ。	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	外国語指導助手報酬	14,500千円	会計年度任用職員報酬	15,000千円	会計年度任用職員報酬	15,000千円	会計年度任用職員報酬	15,000千円	会計年度任用職員報酬	15,000千円
	社会保険料等	2,353千円	社会保険料等	2,414千円	社会保険料等	2,382千円	社会保険料等	2,325千円	社会保険料等	2,325千円
	合計	16,853千円		17,414千円		17,382千円		17,325千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	14,500千円							
	一般財源		2,353千円		17,414千円		17,382千円		17,325千円	
合計	16,853千円		17,414千円		17,382千円		17,325千円			
人工数	0.05人	290千円	0.10人	578千円	0.10人	578千円				
総経費		17,143千円		17,992千円		17,960千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	ALT派遣日数	活動	750日	750日	750日	750日
			223日	740日	728日	
			29.7%	98.7%	97.1%	
2	アンケートで「あなたは外国語活動の勉強は大切だと思いますか」との問いに、「そう思う」と回答した児童の割合(小学校6年生)	成果	-	-	80%	80%
			-	-	89%	
					111.3%	
3	アンケートで「あなたは英語の授業の内容を理解していると思いますか」との問いに、「理解している」「どちらかといえば理解している」と回答した児童の割合(中学校3年生)	成果	-	-	80%	80%
			-	-	79%	
					98.8%	

成果	調査によると小学校6年生でALTの先生と一緒に学習することが、英語を話したり聞いたり伝え合ったりすることに役立っていると思いますか」と肯定的に回答した児童は約89%、中学校2年生で肯定的に回答した生徒は約79%であり児童・生徒自身もALTとの関わりの必要性を感じている。				
R5年度に向けた課題及び改善策	学習指導要領の改訂により、小学校3年生から外国語の学習を始めるため、授業においてネイティブスピーカーを活用したティームティーチングを行い、学級担任をサポートしていくことが求められる。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 129010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	29	林業の振興	1	森林の適正管理	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	林業振興事業	2	市有林整備事業				政策的
事業概要	多面的機能を有する森林を、無秩序な伐採や開発、荒廃から守り、長期的な視点にたった計画的かつ適切な森林の取扱いを推進する。間伐については本数率にして30%以上、樹冠祖密度が間伐後5年で8/10以上となるように実施。間伐回数2~5回。 【補助率 標準補助単価*4/10*査定係数】				対象	市有林	
					手段	カルスト森林組合へ業務を委託する。	
					意図	水源かん養や国土の保全など森林の持つ多面的機能を持続的に発揮する。	

事業期間	H30以前	年度 ~	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	委託料	3,000千円	委託料	2,995千円	委託料	2,618千円	委託料	3,000千円	
	合計	3,000千円		2,995千円		2,618千円		3,000千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金	1,200千円		1,760千円		1,223千円		1,200千円	
	地方債								
	その他								
	一般財源	1,800千円		1,235千円		1,395千円		1,800千円	
合計	3,000千円		2,995千円		2,618千円		3,000千円		
人工数 人件費	0.15人	866千円	0.22人	1,276千円	0.15人	868千円			
総経費		3,866千円		4,271千円		3,486千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	市有林施業面積	活動	5.00ha	5.00ha	5.00ha	5.00ha
			5.54ha	6.50ha	5.99ha	
			111.0%	130.0%	119.8%	
2						
3						

成果	間伐、下刈、や、それ伴う作業道整備を行うことで森林機能の保全が行われた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	計画的で適切な管理を行うことで市有林の機能保全を継続的にやっていく必要がある。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020904

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	9	教職員の資質向上事業	4	学校司書配置事業	2-(3)		政策的
	全ての小・中学校に学校司書を配置して、学校における読書活動を推進している。読書の機会の充実による読書活動の推進や授業での学校図書館の活用促進を行うとともに、学校図書館担当教員等の資質向上を図る。				対象	市内小・中学校児童生徒、教員	
					手段	司書資格又は教員免許を有する人を任用して、小・中学校に配置する。	
				意図	読書習慣の定着、授業での図書の活用、学校間の図書の相互利用の推進		

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
	給料諸手当	20,696千円	会計年度任用職員		会計年度任用職員		給料諸手当	26,537千円	給料諸手当	27,615千円
	社会保険料等	3,757千円	給料諸手当	25,953千円	給料諸手当	26,537千円	社会保険料等	5,475千円	社会保険料等	5,665千円
			社会保険料等	4,706千円	社会保険料等	5,475千円				
	合計	24,453千円		30,659千円		32,012千円				33,280千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	24,453千円		30,659千円		32,012千円				33,280千円
合計	24,453千円		30,659千円		32,012千円				33,280千円	
人工数	0.20人	1,155千円	0.15人	868千円	0.15人	868千円				
総経費		25,608千円		31,527千円		32,880千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R1	R2	R3	R4
1	学校司書配置校数	18校	18校	18校	17校
		18校	18校	18校	
		100%	100%	100%	
2	小学校における年間貸出し冊数 (目標値の基準:週1冊以上×50週)	50冊	50冊	50冊	52冊
		41.3冊	41冊	51.9冊	
		82.6%	82%	103.8%	
3	中学校における年間貸出し冊数 (目標値:月1冊×10ヵ月)	10冊	10冊	10冊	10冊
		5.4冊	6.3冊	7冊	
		54.0%	63%	70.0%	

成果	1人が2校を兼務する体制を維持(現状11人)しながら、全ての小・中学校に学校司書を配置。全校配置により、学校司書の専門的な知識・経験に基づき、授業に関連する図書の展示をする等、学校図書館が整備され、読書環境が整うことで児童生徒の読書習慣も定着してきた。更に、読み聞かせや授業支援の活動により、子どもと本をつなげる架け橋の役割を十分に果たしている。また、年10回の学校司書研修会を実施し、情報共有、資質向上に努めた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	国や県における計画や学習指導要領にしたがって、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童生徒の自主的、自発的読書活動を充実させ、子どもの読書習慣を定着させる必要がある。また令和5年度からは、中央図書館との連携が始まることから、公立図書館と連携した学校図書館の新たな読書環境を整えるためにも学校司書の全校配置を維持する必要がある。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020905

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	9	教職員の資質向上事業	5	学校業務支援員配置事業	2-(3)		政策的
	教員の働き方改革の取組として、学校業務支援員を配置し、学校の事務的業務を補助することにより、教員の長時間勤務の削減を図る。				対象	小・中学校の教員	
					手段	学校に学校業務支援員を配置して、教員が行っている事務的業務の一部を行わせる。	
意図					教員の長時間勤務の削減		

事業期間	R1	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
	賃金	3,057千円	会計年度任用職員報酬等	4,429千円	会計年度任用職員報酬等	4,446千円	会計年度任用職員報酬等	5,578千円		
	社会保険料	18千円	社会保険料等	403千円	社会保険料等	556千円	社会保険料等	717千円		
	合計	3,075千円		4,832千円		5,002千円		6,295千円		
	国庫支出金									
財源内訳/割合	県支出金	1/2	1,538千円	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円	
	地方債									
	その他									
	一般財源		1,538千円		2,882千円		3,052千円		4,345千円	
	合計		3,075千円		4,832千円		5,002千円		6,295千円	
人工数	0.05人	290千円	0.05人	290千円	0.06人	347千円				
総経費		3,365千円		5,122千円		5,349千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	学校業務支援員配置人数	活動	5名	5名	5名	5名
			5名	5名	5名	
			100%	100%	100%	
2	配置校の教員の時間外勤務時間数の削減率(平成30年度比)	成果	20%削減	20%削減	20%削減	20%削減
			17.6%削減	3.4%削減	21.7%削減	
			88.0%	17.0%	108.5%	
3						

成果	市内大規模校に学校業務支援員を配置しているが、時期によって増減率の差はあるものの、総合的に見ると勤務外時間数は削減し、目標を達成している。				
R5年度に向けた課題及び改善策	業務改善に向け、会議資料のペーパーレス化など、さらなる時間外勤務時間数の削減をめざす。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた活動の増加によって、業務量の増加が考えられるが、1人1台端末の有効活用によって、業務を効果的に進めていく。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132021004

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
10	小中学校保健衛生事業	4	健康診断器材の滅菌消毒業務委託				政策的
事業概要	学校の健康診断で使用される医療器材(鼻鏡・歯鏡)の洗浄は、これまで養護教諭が煮沸消毒をしていたが、煮沸消毒では滅失しない菌もあると言われていた。 医療器材の洗浄・滅菌を専門業者が代行することで、新型コロナウイルス感染症等のウイルス感染の危険性を回避することができ、安全な運用・管理を行うことができるため、滅菌をする専門業者に委託することで、感染症予防の強化を図る。				対象	小・中学校	
					手段	健康診断に使用する器材を滅菌消毒の専門業務に委託	
					意図	感染症予防の強化・安全性の確保	

事業期間	R3 年度	～	R8以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳					消毒業務委託料	997千円	消毒業務委託料	1,101千円
	合計						997千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金						10/10	1,101千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						997千円	
合計						997千円		1,101千円
人工数 人件費					0.02人	116千円		
総経費						1,113千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	実施した小学校・中学校数	活動			18校 18校 100%	17校
2						
3						

成果	医療器材(鼻鏡・歯鏡)の洗浄・滅菌・管理を、専門業者に委託することにより、健康診断を安全に受診することができた。 また、養護教諭の準備作業の軽減を図ることができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	健診で使用される医療器材の洗浄・滅菌を専門業者に代行することは、新型コロナウイルス感染症等のウイルス感染の危険性を回避することができるため、今後も安全な運用・管理を行う必要がある。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 教育総務課 事務事業番号 132021201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	学校教育の推進	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	12	学校適正規模・適正配置	1	津布田小学校統合事業			政策的
	令和3年度末で津布田小学校は閉校し、津布田小学校児童はスクールバスを利用して埴生小・中学校に通学することとなる。年度末の引っ越し費用、スクールバスの運行については年度内に入札を行う為、その経費を補正する。				対象	埴生小・中学校及び旧津布田小学校児童	
					手段	統合の手続きを進め、統合後の交通手段を確保する	
意図					統合を完了させ、児童の通学の安全を確保する		

事業期間	R3 年度	～	R8以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳					消耗品	26千円	燃料費	150千円
					通信運搬費	4千円	保険料	100千円
					手数料	50千円	委託料	3,509千円
					運送等業務委託料	1,059千円	手数料	27千円
							通信運搬費	21千円
							使用料及び賃借料	3,124千円
							備品購入費	406千円
合計						1,139千円		7,337千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						1,139千円	
合計						1,139千円		7,337千円
人工数	人件費				0.32人	1,851千円		
総経費						2,990千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	統合に向けた引越し等	活動			完了 完了 100%	
2	スクールバスの整備	活動			着手 着手 100%	完了
3						

成果	令和4年4月に津布田小学校が埴生小学校へ統合されることに伴い、地域の方々の協力を得ながら津布田小学校統合協議会を開催し統合に向けて協議をすすめる事ができた。3月20日には関係者等を招いた津布田小学校の閉校式を開催した。また、統合に向けて3月末に津布田小学校から埴生小学校へ必要な備品等の運搬を実施できた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	旧津布田小学校の跡地については、スクールバスの発着場にもなっており、草刈り等管理面の懸念がある。また今後津布田地域のまちづくりのため、校舎等の利用の要望が地域からも上がっており、市長部局を含めた検討が必要である。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	「へき地児童生徒援助費等補助金」はスクールバスの購入が対象であるが、児童の通学距離が4km以上に限られる。今回は対象児童はいない。				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132030202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
2	小中一貫・連携教育推進事業		2	津布田小・埴生小授業交流事業			政策的	
事業概要	令和4年度の統合に向けて、津布田小学校の児童が、埴生小中学校における人的環境・物的環境に慣れて、児童の精神的な負担軽減を図るとともに円滑な学校生活のスタートが切れるようにするため、津布田小学校の児童及び引率する教員を定期的に埴生小中学校に送迎し、授業交流を行う。				対象	津布田小・埴生小学校		
					手段	送迎バスを利用し、授業交流を行う。		
					意図	令和4年度の統合に向けた円滑なスタートが切れるようにする。		

事業期間	R3 年度	～	R3 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)			R4(予算額)	
支出内訳					バス運行業務委託料	379千円		
	合計					379千円		
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金				1/2	189千円		
	地方債							
	その他							
	一般財源					190千円		
合計					379千円			
人工数	人件費				0.01人	58千円		
総経費						437千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	年間往復回数	活動			60回 95回 158%	
2						
3						

成果	小学校間の連携を学校間移動により実施することで、児童の交流が深まり、合同学習での話し合いや協同活動において互いに切磋琢磨できる学習環境を構築でき、児童の精神的な負担が軽減され、スムーズ移行が図れた。					
R5年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R3	
特記事項						

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132030402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	2	小学校社会科副読本印刷事業				政策的
事業概要	小学校3・4年生の社会科学習では、地域を教材化した副読本を使用し授業を実施している。副読本「はっけん！山陽小野田」は、本市の歴史や文化・産業、主要施設など、地域の情報を掲載している。 平成26年度に副読本を改訂し、平成27年度分から3年おきに、3年間分の副読本増刷して3年生に配布している。また、令和5年度には新学習指導要領を踏まえて、本市の現状に合うように副読本を改訂する必要がある。				対象	副読本	
					手段	副読本を使用して、児童に本市の特色等を教える。	
					意図	ふるさとへの愛着心を育む。	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳							印刷製本費	2,865千円		
	合計							2,865千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源							2,865千円		
合計							2,865千円			
人工数							0.06人	347千円		
総経費								3,212千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	副読本印刷冊数	活動			1,800冊 1,800冊 100%	
2						
3						

成果	小学校3年生の全児童に、副読本を支給することができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	令和5年度は新学習指導要領を踏まえて、本市の現状に合うように副読本を改訂する必要がある、この機会に、これからの学習者用デジタル教科書の導入の流れに向けて、1人1台端末を効果的に活用し、副読本のデジタル教科書化を推進する。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132030406

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	6	キャリア教育推進事業		2-(3)		政策的
事業概要	義務教育段階の子どもの社会的・職業的自立に向けて必要となる「基礎的・汎用的能力」を育てるとともに、夢を抱かせ、更に夢を志に進化させる教育の充実を図る。 主体的に自らの未来を切り開くとともに、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもを育成するため、学校と家庭、大学、地域、産業界等が、連携・協力したキャリア教育を推進し、教育活動の一層の充実を図る。 本市出身者、または地元で活躍中(文化・スポーツ・起業家等様々な分野)の人材を招いて講演会等を開催する。				対象	小・中学校児童生徒	
					手段	職業体験・職業講話等の実施	
					意図	夢や志、つながりの実感を通じて郷土に誇りと愛着を持つ。	

事業期間	R3 年度	～	R8以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳					講師謝金	313千円	講師謝礼	600千円
					消耗品費	35千円	消耗品費	60千円
	合計					348千円		660千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと支援基金	348千円	ふるさと支援基金	660千円
	一般財源							
合計					348千円		660千円	
人工数	人件費				0.12人	694千円		
	総経費					1,042千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	全国学力調査において、「将来の夢や目標を持っている」という設問に対し、肯定的な回答をした児童の割合	成果			75%	75%
					84.8%	
					113.1%	
2	全国学力調査において、「将来の夢や目標を持っている」という設問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合	成果			75%	75%
					71.8%	
					95.7%	
3	実施校数	活動			19校	18校
					13校	
					68.4%	

成果	小学校7校、中学校6校において、延べ49名の講師を招聘し、キャリア教育に関する講演等を実施した。特に、地元で活躍されている方々のお話から郷土の誇りや愛着を感じたり、自身の生き方を考えたりする機会となった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	地元で活躍される講師人材の選定をするために、商工会議所等と地域の団体との連携を一層強めていくこと。また、小学校と中学校9年間で、系統的にキャリア教育を推進していくこと。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132030407

実施体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
4	特色ある学習指導・生徒指導推進事業	7	スマイル・サイエンス事業		2-(3)		政策的
事業概要	義務教育段階から科学に対する興味、関心を喚起し、科学体験に重点を置いた理数教育の充実を図る。 山口東京理科大学との教育連携協定の一つとして、大学キャンパスを会場とし科学作品展を開催する。				対象	小・中学校児童生徒	
					手段	科学作品展を行う	
					意図	科学に対する興味・関心の喚起 様々なことに挑戦する態度・創造的な能力を育成する。	

事業期間	R3 年度	～	R8以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳					賞賜金	24千円	賞賜金	26千円
					消耗品費	79千円	消耗品費	200千円
							印刷製本費	20千円
							会場設営委託料	200千円
	合計						103千円	446千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと支援基金	103千円	ふるさと支援基金	446千円
	一般財源							
合計						103千円	446千円	
人工数	人件費				0.11人	636千円		
総経費						739千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	参加者の中で理科に関心、興味が高まったと回答した割合 (ほんものの科学体験アンケート結果)	成果	80%	80%	80%	80%
			74.8%	-	92.9%	
			93.5%	-	116.1%	
2	参加者の中で理科に関心、興味が高まったと回答した割合 (科学作品展来場アンケート結果)	成果		80%	80%	80%
				-	-	
				-	-	
3						

成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、科学作品展審査のみ実施し、一般公開は中止となった。科学作品展には小学校125点・中学校51点の応募があり、その内、優れた科学的研究や創意工夫に基づく研究物・作品として、市長賞2作品、教育長賞9作品を選出し表彰した。ほんものの科学の講座を体験した、9割の児童生徒が理科に対する興味関心が高まっており、応募作品も優れた内容が多かった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	新型コロナウイルス感染対応下における、大学キャンパスを会場としての科学作品展の開催方法を検討するほか、大学キャンパスが使えない場合、他会場における開催について検討する。大学での開催が可能な場合、さまざまな科学実験等を実際に見て・聴いて・体験する場を設ける等、山口東京理科大学との教育連携の強化を図る。				
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 心の支援室 事務事業番号 132040206

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	4	心に寄り添う学校づくりの推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	いじめ・不登校対策推進事業	6	小野田ふれあい相談室移設事業				政策的
	令和4年4月より、教育委員会所管の小野田ふれあい相談室が小野田児童館から労働会館に移設される。移設に伴い、通信ネットワーク整備等の必要な準備を行う。				対象	小野田ふれあい相談室		
					手 段	施設の整備		
				意 図	小野田ふれあい相談室の確保			

事業期間	R3 年度	～	R3 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳					消耗品費	26千円		
					手数料	2千円		
					工事委託料	1,694千円		
					運送等業務委託料	88千円		
	合 計					1,810千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					1,810千円		
合 計					1,810千円			
人工数	人件費				0.06人	347千円		
総経費						2,157千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	小野田ふれあい相談室に通室した児童生徒数	活動	18人	22人	40人	
2	小野田ふれあい相談室で相談活動を行った件数	活動	1,207件	1,597件	3,894件	
3						

成果	通信ネットワーク等の環境整備を行ったことにより、通室する不登校児童生徒にも各学校と同様の学習環境等が提供されたことにより円滑な学習支援を行うことができた。また、オンライン学習の機会の充実により、一人ひとりの状況に応じた社会的自立への支援の強化を図ることができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	今後は、増加する不登校児童生徒の支援の強化及び小野田ふれあい相談室の移転に伴う通室困難生への支援として、高千帆中学校区に新たなふれあい相談室を増室することが必要である。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	完了	コスト	R3
特記事項	令和3年度終了				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 社会教育係 事務事業番号 133010202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	33	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
2	成人式実施事業	2	成人式実施事業(臨時分)				政策的
事業概要	令和3年1月10日(日)に開催予定としていた成人式については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年5月2日(日)に延期することとした。対象者への延期連絡、5月開催日のお知らせ、また、マスクやゴム手袋、消毒液、シールド等の購入費として予算計上するもの。				対象	新成人(延期した新成人を含む)	
					手段	記念式典、記念行事の開催	
					意図	大人(市民)としての自覚を促し、故郷への想いを再確認させる	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)			R4(予算額)		
支出内訳							消耗品費	162千円	消耗品費	77千円
							印刷製本費	286千円		
							通信運搬費	123千円		
合計								571千円		77千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源							571千円		77千円
合計								571千円		77千円
人工数	人件費						0.39人	2,256千円		
総経費								2,827千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	出席者割合 (出席者数/全対象者数)	活動	67%	67%	67%	67%
			65%	45%	67%	
			97.0%	67.2%	100%	
2						
3						

成果	開催日の延期、新型コロナウイルス感染症対策における開催方法の変更(2部会場、2部制)等、多くの変更はあったものの、大きな問題もなく進行することができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	令和5年5月8日付で、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の分類が「5類」に変更されることから、令和6年1月7日(日)実施予定の「山陽小野田市二十歳のつどい」は、コロナ禍前の1会場1部制へ戻す予定としている。対象者750名程度(実際の参加者は450名程度)が一堂に会するため、事務局側の人員配置の変更や増員、社会教育団体への協力依頼等調整が必要となる。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 きらら交流館 事務事業番号 133010504

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	33	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
5	きらら交流館管理運営事業	4	宿泊研修施設きらら交流館指定管理者選定委員会事業				行政内部管理
事業概要	山陽小野田市宿泊研修施設きらら交流館の指定管理者による管理の期間が令和4年3月31日をもって終了するため、次の指定管理者を指定するための選定を行う。				対象	指定管理者選定委員	
					手段	指定管理者選定委員会を開催し、施設の管理を行わせるにつき最適なものを候補者として選定する。	
					意図	指定管理者の選定公募により選出された市民又は学識経験者	

事業期間	H30以前	年度 ~	R3	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳			委員報酬	8千円	報償金	8千円			
	合計			8千円		8千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源			8千円		8千円			
合計			8千円		8千円				
人工数	0.00人	千円	0.10人	580千円	0.25人	1,446千円			
総経費				588千円		1,454千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	審議会開催回数	活動		2回 0回 0%	2回 2回 100%	
2						
3						

成果	令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)1年間の指定管理者の選定を行った。				
R5年度に向けた課題及び改善策	令和5年3月から、改修のため休館				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	完了	コスト	R3
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央・厚狭図書館 事務事業番号 133011003

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	33	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	10	読書活動推進事業	3	子ども読書活動推進計画推進事業(臨時分)	2-(1)	知守	政策的
	全ての子どもがあらゆる機会及び場所において、自主的に読書活動を行うことができるように、環境づくりを行う。令和3年度は、第二次子ども読書活動推進計画により開始した「絵本で子育て出前講座」を継続して行う。また、第三次計画も策定後3年を経過するので、実施方法等についても随時見直しを行い、子育て支援課等関係機関との連携をより一層深めていく。				対象	概ね5歳以下の子ども及びその家族	
					手段	児童書の購入、絵本の読み聞かせなど	
					意図	全ての子どもがあらゆる機会及び場所において、自主的に読書活動を行うことができるように、環境づくりを行う	

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	講師謝礼	60千円	講師謝礼	142千円	講師謝礼	40千円	講師謝礼	120千円		
	消耗品費	50千円	委員報酬	20千円	消耗品費	36千円	消耗品費	43千円		
			印刷製本費	148千円	委員報酬	24千円	委員報酬	96千円		
	合計	110千円		310千円		100千円		259千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	110千円		310千円		100千円		259千円		
合計	110千円		310千円		100千円		259千円			
人工数	1.85人	5,644千円	2.63人	6,821千円	0.16人	623千円				
総経費		5,754千円		7,131千円		723千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	「絵本で子育て出前講座」参加者数	活動	200人	200人	200人	200人
			473人	206人	195人	
			236.5%	103.0%	97.0%	
2						
3						

成果	令和3年度は、コロナ禍で開催が難しい状況であったが、保育園・幼稚園・スマイルキッズで5回実施することができ、保護者、園及び施設職員に絵本の魅力を十分伝え、子どもの読書活動を推進することが出来た。				
R5年度に向けた課題及び改善策	令和4年度に第四次子ども読書活動推進計画を策定し、子ども読書活動の推進を図る。「絵本で子育て出前講座」を実施していない保育園・幼稚園へ啓発活動が必要である。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央図書館 事務事業番号 133011108

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	33	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
11	図書館管理事業	8	電子図書館システム導入事業			知守	政策的	
事業概要	コロナによって外出の自粛が増え、図書館利用者も減少した。感染対策の徹底によって客足は少しづつ戻りつつあるが、今後はコロナと共存しながら在宅でも利用できるよう環境を整備する必要がある。 電子図書館システムは、市内に在住・在勤・在学する者に電子書籍の貸出を行う新しいシステムである。 これにより、時間、場所を問わず書籍を借りることができるようになり来館は不要となる。障がい者や自宅療養者等、来館が困難な人々も利用でき、図書館利用者の層を広げることができる。				対象	市内に在住・在勤・在学する者		
					手段	電子図書館の貸出を行うシステムを構築する		
					意図	来館しなくても、インターネットを通じて電子書籍の検索・貸出・返却・閲覧が可能であり、コロナ対策にもなる		

事業期間	R3 年度	～	R8以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)			R4(予算額)	
支出内訳					システム開発委託料	770千円		
					システム利用料	275千円	システム利用料	660千円
					電子図書サービス利用料	9,897千円	電子図書サービス利用料	7,000千円
合計						10,942千円		7,660千円
財源内訳/割合	国庫支出金				交付金(100%)	10,000千円	交付金(1/2)	3,500千円
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					942千円		4,160千円
合計						10,942千円		7,660千円
人工数	人件費				0.92人	4,269千円		
総経費						15,211千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	電子図書館新規登録者数	成果			600人	300人
					355人	
					59.2%	
2	電子図書貸出冊数	成果			3,000冊	6,000冊
					1,737冊	
					57.9%	
3	電子図書購入冊数	活動			2,520冊	840冊
					2,609冊	
					103.5%	

成果	令和3年10月から電子図書館システムが稼働し、高齢者・障がい者・自宅療養者・子育て中の保護者など、これまで図書館に来館することが困難であった人々にも、いつでもどこでも電子書籍が利用できるようになり、利用者の層を広げることが出来た。特にコロナ禍で感染予防の観点からも効果があり、今後も需要が見込まれる事業である。				
R5年度に向けた課題及び改善策	初年度は新規登録者数、貸出冊数ともに目標の6割程度にとどまった。電子図書館の一層の利用促進を図るため、市民に広く電子図書館の利便性や魅力を伝えるための積極的なPRを展開し、利用者の拡充に努める。また、来館困難者の利用に加え、市内小・中・高校生の利用に向けて、それぞれのニーズに合わせて幅広く魅力のある電子書籍を継続的に購入し、電子書籍を充実させていく必要がある。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 134010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	34	次世代の学校・地域創生の推進	1	学校・家庭・地域の連携の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	1	コミュニティ・スクール推進事業	2	スクールアドバイザー配置事業	2-(1)		政策的
					2-(3)		
	コミュニティ・スクールの機能である「学校支援、学校運営、地域貢献」の充実を図るため、学校運営協議会、地域協議会での助言・支援や各種マネジメントを行うスクールアドバイザーを配置する。				対象	コミュニティ・スクール	
				手段	学校運営協議会での助言・支援や各種マネジメントを行う。		
				意図	コミュニティ・スクールの充実		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
	人件費	1,813千円	会計年度任用職員報酬等	1,684千円	会計年度任用職員報酬等	1,753千円	会計年度任用職員報酬等	1,632千円		
			社会保険料等	318千円	社会保険料等	306千円	社会保険料等	282千円		
	合計	1,813千円		2,002千円		2,059千円		1,914千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	1,813千円		2,002千円		2,059千円		1,914千円		
合計	1,813千円		2,002千円		2,059千円		1,914千円			
人工数	0.10人	578千円	0.10人	578千円	0.10人	578千円				
総経費		2,391千円		2,580千円		2,637千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	学校運営協議会、地域協議会への出席回数(各学校年2回)	活動	36回	36回	36回	
			48回	8回	51回	
			133.3%	22.2%	141.7%	
2	コミュニティ・スクールだよりの発行回数(月平均2回)	活動	24回	24回	24回	
			24回	24回	34回	
			100%	100%	141.7%	
3						

成果	各校においては、コロナ禍の影響を受け、これまでの取組の見直しを図るとともに新たな学校・家庭・地域の連携・協働の在り方を構築する動きが生み出されているが、アドバイザーの支援によりその強化を図ることができた。また、小学6年生、中学3年生、教職員、学校運営協議会委員を対象とした意識調査結果を踏まえ、各校の取組に対する効果検証を行うとともに重点取組事項を明確に示唆することで学校運営協議会のさらなる活性化を図ることができた。				
R5年度に向けた課題及び改善策	中学校区ごとに策定した「学校地域連携カリキュラム」について、育成をめざす資質・能力を明確にさせ、地域との連携・協働による教育実践のさらなる充実に向けた指導・助言を行っていく。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 社会教育係 事務事業番号 134010302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	34	次世代の学校・地域創生の推進	1	学校・家庭・地域の連携の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	3	家庭教育支援事業	2	家庭教育支援事業(中学校区分)	2-(1)	知守	政策的
					2-(3)		
「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、概ね中学校区で学校等と連携しながら、地域の実情に応じた家庭教育支援を行うため、小野田中学校区家庭教育支援チームを立ち上げた。小学校区ごとに行ってきたこれまでの活動を中学校区に広げ、子育てサロンや「親の学び」プログラムin小野田などを開催している。学校等との連携を生かして、幼稚園、保育所、小学校、中学校の保護者のつながりづくりを行い家庭教育の充実に向け取り組んでいく。					対象	子育て中の保護者	
					手段	家庭教育支援チームによる支援	
					意図	子育て中の保護者の不安を解消する	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)				
支出内訳				講師謝礼	千円	講師謝礼			講師謝礼	30千円
				消耗品費	千円	消耗品費			消耗品費	10千円
				印刷製本費	83千円	印刷製本費	17千円		印刷製本費	100千円
				保険料	千円	保険料			保険料	10千円
合計				83千円		17千円			150千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金			県補助金	55千円					100千円
	地方債			0						
	その他									
	一般財源			一般財源	28千円	一般財源	17千円		一般財源	50千円
合計				83千円		17千円			150千円	
人工数	0.00人			0.00人		0.10人				
人件費		千円		千円		578千円				
総経費				83千円		595千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	講座回数	活動		2回	2回	2回
				0回	0回	
					0%	
2	子育て講座満足度	成果		90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
					-	
					-	
3	研修会の開催	活動		1回	1回	1回
					0回	
					0%	

成果	令和3年度は、10名ずつ、12のグループに分散して研修会を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により直前で中止となった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	他の会議や研修のようなオンラインでの開催では、本事業の主眼達成が難しくなる。人数を分散すれば人的配置も増加することから、今後は感染症対策を行いながらコンパクトに開催できるかが重要である。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	この活動を通して、未就学児の保護者や小・中学校の保護者等、保護者同士の縦横のつながりが広がるほか、中学校区の子どもの学びや育ちを地域全体で見守り支援する気運が醸成されるなどの効果がみられる。				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 大学推進室 事務事業番号 135010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)				
	5	教育・文化・スポーツ	35	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実			
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分	
1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業		3	公立大学法人山口東京理科大学運営費交付金事業				行政内部管理	
事業概要	地方独立行政法人法第42条に基づき、山陽小野田市が設立した公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の業務の財源に充てるため、運営費交付金を交付する。					対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学		
						手段	運営費交付金を交付する。		
						意図	公立大学法人の業務遂行に必要な財源を措置する。		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
	運営費交付金		1,537,523千円	運営費交付金	1,590,987千円	運営費交付金(通常分)	1,641,890千円	運営費交付金	1,620,304千円	
					運営費交付金(寄附金充当分)	4,050千円				
合計		1,537,523千円		1,590,987千円		1,645,940千円				1,620,304千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	基金繰入等	37,545千円			基金繰入等	67,130千円			
	一般財源		1,499,978千円		1,590,987千円		1,578,810千円			1,620,304千円
合計		1,537,523千円		1,590,987千円		1,645,940千円				1,620,304千円
人工数	0.20人	1,155千円	0.25人	1,450千円	0.30人	1,735千円				
総経費		1,538,678千円		1,592,437千円		1,647,675千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	山陽小野田市立山口東京理科大学工学部の学生数(入学定員:200人×4年=収容定員800人)	成果	800人	800人	800人	800人
			887人	849人	853人	
			110.9%	106.1%	106.6%	
2	山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部の学生数(入学定員120人×6年=収容定員720人)	成果	240人	360人	480人	600人
			261人	378人	487人	
			108.8%	105.0%	101.5%	
3	山陽小野田市立山口東京理科大学大学院の学生数(工学研究科/工学専攻:収容定員39人)	成果	39人	39人	39人	39人
			37人	40人	40人	
			94.9%	102.6%	102.6%	

成果	平成28年4月の公立化から令和3年度まで、学生数は工学部、薬学部ともに収容定員を上回っており、授業料収入等の公立大学法人の自主財源と運営費交付金等の市からの財源措置により、順調な法人及び大学運営がなされている。				
R5年度に向けた課題及び改善策	公立大学法人の業務や果たすべき役割を踏まえつつ、自律的、効率的な法人運営を確保するため、公立大学法人としっかりと情報共有を行った上で運営費交付金を算定し、交付する。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 大学推進室 事務事業番号 135010104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	35	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業		4	公立大学法人山口東京理科大学運営基金積立事業				行政内部管理
事業概要	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の健全な運営等を支援するため、山陽小野田市立公立大学法人運営基金条例に基づき基金を設置し、計画的に積み立てを行う。				対象	公立大学法人運営基金		
					手段	基金積立		
					意図	将来の大学の施設整備等のため、計画的に基金を積み立て、健全な運営を保つ。		

事業期間	H29以前	年度 ~	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
		基金積立金	2,000千円	基金積立金	41,770千円	基金積立金	1,000千円	基金積立金	17,507千円
合計		2,000千円		41,770千円		1,000千円		17,507千円	
財源内訳/割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	寄附金	1,000千円	寄附金	1,050千円	寄附金	1,000千円		
	一般財源		1,000千円		40,720千円				17,507千円
合計		2,000千円		41,770千円		1,000千円		17,507千円	
人工数	0.15人	866千円	0.10人	580千円	0.15人	868千円			
総経費		2,866千円		42,350千円		1,868千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R1	R2	R3	R4
1	山陽小野田市立公立大学法人運営基金の年度末残高	693,859千円	687,746千円	668,825千円	667,940千円
		741,164千円	782,941千円	716,819千円	
		106.8%	113.8%	107.1%	
2					
3					

成果	公立大学法人運営基金は、目標とする残高を確保している。				
R5年度に向けた課題及び改善策	公立大学法人が作成する施設整備に係る長期計画等の情報により、長期的な財政需要を把握し、公立大学法人の財政見通しについて更なる精緻化に努めながら基金の管理を行う。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 大学推進室 事務事業番号 135010201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	35	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	
事業概要	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
	2	公立大学法人山口東京理科大学薬学部校舎建設事業	1	公立大学法人山口東京理科大学薬学部校舎建設事業			政策的
平成30年4月に開学した薬学部の教育研究活動に必要な校舎、研究機器類をはじめ、山陽小野田市立山口東京理科大学の施設、設備等の整備を行う。					対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学	
					手段	施設、設備等の整備	
					意図	教育・研究環境の充実を図る。	

事業期間	H29以前	年度 ~	R6	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	職員手当等	229千円	職員手当等	165千円	職員手当等	188千円	職員手当等	200千円	
	需用費	114千円	需用費	16千円	需用費	348千円	旅費	63千円	
	役務費	297千円	役務費	265千円	役務費	269千円	需用費	10,034千円	
	委託料	1,230千円	委託料	10,099千円	委託料	718千円	役務費	262千円	
	工事請負費	83,945千円	使用料及び賃借料	191千円	使用料及び賃借料	183千円	委託料	300千円	
	備品購入費	265,017千円	工事請負費	49,173千円	工事請負費	299千円	使用料及び賃借料	172千円	
	その他	334千円	その他	107千円	その他	99千円	負担金、補助及び交付金	233,094千円	
合計	351,166千円	60,016千円	2,104千円	244,125千円					
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債	75%	263,300千円	75%	44,300千円		75%	174,700千円	
	その他							公立大学法人運営基金	49,466千円
	一般財源		87,866千円		15,716千円		2,104千円		19,959千円
合計	351,166千円	60,016千円	2,104千円	244,125千円					
人工数	2.45人	13,877千円	0.75人	4,349千円	1.85人	10,699千円			
総経費	365,043千円	64,365千円	12,803千円						

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	薬学部校舎等建設スケジュール	活動	工事、備品購入	工事	工事	工事
			工事、備品購入	工事	未着工	
			75.0%	100%	0%	
2						
3						

成果	グラウンド及びテニスコート整備の工事着工に向けて準備を進めていたが、市の計画では、公立大学法人が必要とする令和4年度末までにグラウンドが完成しない見込みであることから、公立大学法人と協議した結果、以前はグラウンドとして使用されていた法人所有の駐車場を公立大学法人がグラウンドとして整備するとともに、新たに必要となる駐車場及びテニスコートの整備についても、公立大学法人が実施する計画に変更した。				
R5年度に向けた課題及び改善策	公立大学法人が主体となって駐車場及びテニスコートを整備することから、市は必要な整備財源を公立大学法人に措置するとともに、整備推進に必要なサポートを行う。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 市民館 事務事業番号 136010201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	市民館維持整備事業	1	市民館維持整備事業(市民館整備事業)			政策的
	市民館の設備等の長寿命化を図るため改修工事を実施しました。令和2年度は、屋外高圧受電設備等更新工事、外壁改修工事、PCB含有物処理業務委託(高圧トランス・蛍光灯用安定器)、PCB含有物運搬料、駐輪場設置工事、舞台照明設備・舞台機構設備更新工事、駐車場ライン改修工事、植栽剪定を実施し、令和3年度は、空調設備更新工事及び文化ホール、体育ホール、第1・2会議室のワイヤレスマイク、ポータブルマイク、音響機器の更新を実施しました。				対象	市民館	
					手段	各種工事や設計業務を入札により業者を決定	
					意図	施設の長寿命化、利用者の安全確保及び利便性の向上	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)				R3(決算額)			R4(予算額)	
支出内訳	消耗品費	174千円	消耗品費	23千円	工事請負費	55,641千円	工事請負費			
	建築確認申請手数料	55千円	建築確認申請手数料	15千円	備品購入費	1,815千円	修繕料			
	監理委託料	11,751千円	草刈等委託料	549千円	旅費	106千円	設計委託料			
	設計委託料	981千円	PCB廃棄物運搬処理業務委託料	321千円						
	工事請負費	477,862千円	廃棄物処分業務委託料	2,867千円						
	備品購入費	2,775千円	設計委託料	946千円						
	その他	685千円	その他	65,314千円						
	合計	494,283千円		70,035千円		57,562千円				
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債	100%, 95%, 75%	477,300千円	75%	57,800千円	75%	41,700千円			
	その他					ふるさと支援基金	1,815千円			
	一般財源		16,983千円		12,235千円		14,047千円			
	合計		494,283千円		70,035千円		57,562千円			
人工数	2.05人	11,842千円	1.36人	6,329千円	0.45人	2,148千円				
総経費		506,125千円		76,364千円		59,710千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	市民館整備事業 ・市民館耐震改修工事、吊天井耐震化工事、エレベータ設置工事、客席椅子更新工事 等	活動	設計・工事	設計・工事	工事	
			実施	実施	実施	
			100%	100%	100%	
2	市民館利用者数 (文化ホール、体育ホールの合計)	成果	休館中	58,000人	9,000人	19,000人
			0人	7,321人	18,262人	
			-	12.6%	202.9%	
3						

成果	平成30年度から令和3年度までに、耐震改修工事及び大規模な設備改修工事は計画どおり終了し、施設の長寿命化を図りました。一方、市民館の利用者数はコロナ禍により、耐震改修前に比べ大幅に減っており、回復の兆しはあるものの、引き続き、リニューアルに関しPRを行い、利用者増に向けて改善を図ってまいります。				
R5年度に向けた課題及び改善策	体育ホール水銀灯のLED化や、文化ホールマニラロープの交換など、施設の長寿命化を図る上で必要な改修工事はあるものの、実施時期や工費の積算など課題もあるため、早急に整理し、予算要求を含め事業化に向けて改善を図ります。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	※平成30年度から令和1年度に繰越明許費(205,469千円)あり				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136010202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
2	市民館維持整備事業	2	市民館WEB環境整備事業				政策的
事業概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大勢の人が一堂に会する従来型の文化・スポーツイベントが多く中止となり、形を変えたイベントの実施が課題となっており、コロナ禍においても人との交流を生み出すことができるWEBによる文化・スポーツ講座、交流イベント等を実施可能とする環境を整備することが急務となっています。そこで、所管している市民館にLAN敷設工事を実施し、WEB環境を整備することにより、コロナに負けないイベント実施が可能な環境を整備しました。				対象	情報通信基盤	
					手段	LAN敷設工事の実施	
					意図	コロナ禍においても、文化・スポーツイベント等を実施可能とするための環境整備	

事業期間	R3 年度	～	R3 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)			R4(予算額)	
支出内訳					委託料	913千円		
	合計					913千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					913千円		
合計					913千円			
人工数	人件費				0.12人	694千円		
総経費						1,607千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	LAN敷設工事の実施	活動			1回 1回 100%	
2	イベント開催件数	成果	休館中 0件 -	- 0件 -	10件 0件 0%	10件
3						

成果	市民館会議室へのLAN敷設工事により、WEB環境の整備が図れたことから、コロナ禍においても可能な限り講座やイベントをWEBで開催したり、リアル開催と併用したりするなど、今後は積極的に活用を検討してまいります。ただし、イントラネットを利用していることから、セキュリティ上一般利用者のみでは使用できないため、市主催又は共催講座、イベントでの使用に限り、利用が認められている点に注意する必要があります。				
R5年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
		成果	完了	コスト	R3
特記事項	令和3年度終了				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136010309

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	3	文化会館管理運営事業	9	文化会館WEB環境整備事業			政策的
	新型コロナウイルスの感染拡大により、大勢の人が一堂に会する従来型の文化・スポーツイベントが多く中止となり、形を変えたイベントの実施が課題となっており、コロナ禍においても人との交流を生み出すことができるWEBによる文化・スポーツ講座、交流イベント等を実施可能とする環境を整備することが急務となっています。そこで、所管している文化会館にLAN敷設工事を実施し、WEB環境を整備することにより、コロナに負けないイベント実施が可能な環境を整備しました。				対象	情報通信基盤	
					手段	LAN敷設工事の実施	
					意図	コロナ禍においても文化イベント等を実施可能とするための環境整備	

事業期間	R3 年度	～	R3 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳					委託料	2,179千円		
	合計					2,179千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						2,179千円	
合計						2,179千円		
人工数	人件費				0.13人	752千円		
総経費						2,931千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	LAN敷設工事の実施	活動			1回 1回 100%	
2	文化イベント開催件数	成果	- 15件 -	- 0件 -	15件 0件 0%	15件
3						

成果	文化会館会議室へのLAN敷設工事により、WEB環境の整備が図れたことから、コロナ禍においても可能な限り講座やイベントをWEBで開催したり、リアル開催と併用したりするなど、今後は積極的な活用を検討してまいります。ただし、イントラネットを利用していることから、セキュリティ上一般利用者のみでは使用できないため、市主催又は共催講座、イベントでの使用に限り、利用が認められている点に注意する必要があります。				
R5年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
	成果	完了	コスト	R3	
特記事項	令和3年度終了				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136010503

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
5	世代別市民文化度育成事業	3	(主催)アウトリーチ事業(臨時)				政策的
事業概要	普段コンサートホールに行くことが難しい人にも質の高い芸術文化に触れてもらうため、身近な施設に向いてコンサートを開催し、誰もが気軽に芸術文化に親しむことができる環境づくりを進めます。				対象	市民ほか	
					手段	出前コンサートの実施	
					意図	芸術文化に親しみ創造性を豊かにする環境づくり及び生きがいづくり	

事業期間	R2 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳							報償費	500千円
							食糧費	10千円
							消耗品費	60千円
							会場借上料	30千円
合計								600千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他						ふるさと支援基金	600千円
	一般財源							
合計								600千円
人工数	人件費			0.00人	千円	0.30人	1,735千円	
総経費								

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	アウトリーチ実施回数	活動		2回 中止 -	2回 中止 -	2回
2						
3						

成果	新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送りました。				
R5年度に向けた課題及び改善策	コロナ禍であっても質の高い芸術文化に触れることのできる新たな手法の検討が必要です。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136010504

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	5	世代別市民文化度育成事業	4	(主催)子ども文化ふれあい事業			政策的
	子ども達に多彩なアーティストによる優れた公演を間近に体験させることにより、豊かな感情や情緒を育み、創造的で個性的な価値観を養うため、各小学校や公立幼・保育園で芸術文化鑑賞会を実施します。 1. 市内各小学校での実施 これまで文化会館に市内小学6年生が集まり実施していた事業を、コロナの影響により会場を各小学校に変更して実施します。(学校ごとの実施年度は、学校教育課と協議のうえ決定します。) 2. 公立幼・保育園での実施(2回) ※R3～新規 幼児期に音楽に触れる経験が、音を聴く力、言語能力等に与える効果を期待し、未就学児を対象に実施します。				対象	市内全小学生及び未就学児	
					手段	小学校や公立幼保育園で開催	
					意図	子どもたちに生の鑑賞機会を提供することで感動を体感してもらいます	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)				
支出内訳	著作権使用料	2千円				報償費	493千円	報償費	850千円	
	食糧費	2千円				消耗品費	4千円	消耗品費	35千円	
	実行委員業務委託	7千円				食糧費	13千円	食糧費	10千円	
	手数料	20千円				手数料(調律)	121千円	手数料(調律)	66千円	
	保険料	14千円				公演業務委託料	1,150千円	著作権使用料	10千円	
	公演業務委託料	700千円				自動車借上料	57千円	自動車借上料	25千円	
	送迎業務委託料	620千円				著作権使用料	2千円			
	合計	1,365千円					1,840千円		996千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他							ふるさと支援基金	996千円	
	一般財源	1,365千円					1,840千円			
	合計	1,365千円					1,840千円		996千円	
人工数	0.09人	520千円				0.75人	3,314千円			
総経費	1,885千円						5,154千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	公演実施回数	活動	1回	1回	14回	7回
			1回	中止	14回	
			100%	-	100%	
2	入場者数	成果	600人	600人	600人	300人
			620人	中止	1,258人	
			103.3%	-	209.7%	
3						

成果	コロナ禍により、令和3年度から小学5・6年生を対象に小野田地区・山陽地区の学校を交互に訪問し、芸術鑑賞の機会を提供することとしましたが、山陽地区の6年生の鑑賞機会が失われるため、予算を流用し全小学校で実施しました。また、令和3年度から開始した公立幼・保育園の事業については、日の出保育園及び埴生幼稚園を訪問しました。一流の演奏を鑑賞することは、児童や園児にとって貴重な機会となりました。				
R5年度に向けた課題及び改善策	優れた芸術文化に触れる機会であるとともに、芸術鑑賞のマナーを学ぶ機会にもなっており、来年度も継続開催していきます。現在はコロナ禍により各小学校等で実施していますが、令和5年度以降は音響効果に優れた不二輸送機ホールで、市内全小学6年生を集めて実施する形に戻します。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136020202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
2	ガラス文化推進事業	2	ガラス文化推進事業	1-(1)			政策的	
事業概要	市内外の行事等に出張し、ガラス体験教室を開催することで、多くの人々が本市ガラス文化に興味を持つきっかけとします。また、参加者へきさらガラス未来館をPRする機会とし来館を促すことで、本市のガラス文化の推進を図ります。				対象	全市民及び全国		
					手段	市内外できさらガラス未来館によるガラス作品制作の出張体験教室を開催		
					意図	ガラス文化の推進		

事業期間	R1 年度	～	R8以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)			R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳	講師謝礼	182千円	特別作品展(東京)	2,936千円	講師謝礼	20千円	講師謝礼	291千円
	旅費	14千円			消耗品費	3千円	1万*2人*12回+交通費相当	
	出展負担金	6千円			出展負担金	7千円	旅費	15千円
							消耗品費	37千円
							通信運搬費	9千円
							出展負担金	6千円
合計	202千円		2,936千円		30千円		358千円	
財源内訳/割合	国庫支出金		地方創生(1/2)	1,367千円				
	県支出金							
	地方債				ふるさと支援基金	30千円	ふるさと支援基金	358千円
	その他							
	一般財源	202千円		1,569千円				
合計	202千円		2,936千円		30千円		358千円	
人工数	0.20人	1,155千円	0.01人	58千円	0.66人	3,135千円		
人件費								
総経費	1,357千円		2,994千円		3,165千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	出張体験教室の開催回数	活動	10回	12回	12回	12回
			7回	中止	1回	
			70.0%	-	8.3%	
2	出張体験教室の参加者人数	活動	200人	240人	240人	240人
			144人	中止	18人	
			72.0%	-	7.5%	
3	保有ガラス作品の展示日数(市外)	活動		4日		
				5日		
				125.0%		

成果	開催に向けて準備をしていましたが、コロナ禍により下関市生涯学習プラザでしか開催できていません。				
R5年度に向けた課題及び改善策	市内外での出張体験教室を継続開催することで、本市ガラス文化及びきさらガラス未来館をPRしていきます。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136020301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
3	文化によるまちづくり推進事業	1	かるたによるまちづくり推進事業		1-(1)		政策的
事業概要	市内公共施設や小学校の授業の一環としてかるた教室を開催することで、市内全域への競技かるたの普及を進めます。また、教室参加者や競技者を対象としたかるた大会を開催することにより、競技者のさらなる増加を図ることで、「かるたのまち山陽小野田」の魅力を発信し、交流人口の拡大を図る等、かるたによるまちづくりを展開します。				対象	本市及び全国	
					手段	競技かるた関係者による連絡会議の開催	
					意図	競技かるたの再興によるまちづくり及び全国発信	

事業期間	H30以前	年度 ~	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	消耗品(教室)	29千円	消耗品(かるた購入)	407千円	かるた教室委託料(15千×12)	180千円	かるた教室事業委託料	320千円	
	かるた教室委託料	180千円	かるた教室委託料	180千円	報償費(10千×5 小野田高校)		消耗品	158千円	
	通信運搬費	2千円					通信運搬費	10千円	
	保険料	4千円					保険料	10千円	
	会場借上料(小野田高校)	1千円					会場借上料	2千円	
	合計	216千円	587千円	180千円	500千円				
財源内訳/割合	国庫支出金	地方創生1/2	108千円	地方創生1/2	293千円	地方創生1/2	90千円		
	県支出金								
	地方債								
	その他							ふるさと支援基金	500千円
	一般財源	108千円	294千円	90千円					
合計	216千円	587千円	180千円	500千円					
人工数	0.13人	630千円	0.40人	2,320千円	0.78人	3,488千円			
総経費	846千円	2,907千円	3,668千円						

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	学校出前かるた教室の開催 (参加者数)	活動	8回	7回	12回	12回
			8回(4校552人)	12回(9校552人)	12回(9校430人)	
			100%	171.4%	100%	
2	一般向けかるた教室の開催 (参加者数)	活動	4回	4回	4回	4回
			4回(延べ34人)	中止	中止	
			100%	-	-	
3	かるた大会の開催 (参加者数)	活動	1回	1回	1回	1回
			中止	中止	中止	
			-	-	-	

成果	小中学生を対象としたかるた教室を9校12回開催し、400名を超える児童・生徒に競技かるたに触れる機会を提供しました。また、H30から小野田高校と竜王中学校が続けてきた交流会に赤崎・本山小が加わったことで、小・中・高連携かるた交流会が実現するなど、かるたを通じた多世代交流が広がりつつあります。				
R5年度に向けた課題及び改善策	小中学生対象のかるた教室は大変好評で、今後も継続開催することで若い世代にかるた文化を継承したいと考えています。また、山口東京理科大学の競技かるた部との交流を深めるなど、かるたを通じた交流の輪をさらに広い世代に広げていきたいと考えており、競技かるたに継続して取り組む人材の育成、本市かるた文化を若い世代にいかに関承するかが課題と捉えています。				
目標達成度	B	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136020302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	3	文化によるまちづくり推進事業	2	芸術文化アドバイザー設置事業			政策的
	芸術文化活動の活性化及び本市の特色を活かした芸術文化によるまちづくりの推進を目的として、専門的な立場からの助言を得るため、芸術文化アドバイザーを設置します。(ガラス、音楽、競技かるた:各2名)				対象	本市文化振興行政	
					手段	専門的な立場からの助言	
					意図	本市の魅力を活かした文化振興によるまちづくりの推進	

事業期間	R1	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)			R2(決算額)			R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳	報償金	100千円		報償金	40千円		報償金	90千円	報償費	360千円
									(10千円*36回)	
	合計		100千円			40千円			90千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他								ふるさと支援基金	360千円
	一般財源	100千円			40千円			90千円		
合計		100千円			40千円			90千円		360千円
人工数	0.10人			0.02人			0.00人			
人件費	578千円			116千円						
総経費		678千円			156千円			90千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	芸術及び文化によるまちづくりのための専門的な立場からの助言	活動	100回	100回	36回	36回
			10回	4回	9回	
			10.0%	4.0%	25.0%	
2						
3						

成果	コロナ禍により、各種イベントの開催が中止又は延期になった関係から、当初予定していた芸術文化アドバイザーへの相談件数は減ったものの、限られた相談の中においては専門的な見地から助言を得ることで、魅力ある文化事業を実施することができました。				
R5年度に向けた課題及び改善策	引き続きアドバイザーの意見を有効に活用し、事業に反映していきます。実績に応じて目標回数の見直しを行いました。限られたコストで最大限の効果が得られるよう、制度の活用に努めます。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136020303

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
3	文化によるまちづくり推進事業	3	文化振興ビジョン新規策定事業	1-(1)			政策的
事業概要	第二次山陽小野田市総合計画(H30.3月策定)では、将来都市像を「活力と笑顔あふれるまち」と定め、それを実現するための基本施策として「芸術文化によるまちづくりの推進」を掲げています。 この目標を達成するため、市民の芸術文化活動の支援や本市ならではの特色ある文化事業に取り組み、文化に対する意識の向上を図る上での指針として、「山陽小野田市文化芸術振興ビジョン」(R4.4月策定)を活用します。				対象	本市文化振興行政	
					手段	専門的な立場からの助言	
					意図	本市の魅力を活かした文化振興によるまちづくりの推進	

事業期間	R3 年度	～	R3 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳					報償金	112千円		
	合計					112千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						112千円	
合計						112千円		
人工数					0.80人	3,945千円		
総経費						4,057千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	文化振興ビジョンの策定	成果			1回 1回 100%	-
2	ビジョン策定に向けた会議開催	活動			3回 7回 233.3%	-
3						

成果	計画通り「山陽小野田市文化芸術振興ビジョン」を策定(R4.4月)することができました。				
R5年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	完了	コスト	R3
特記事項	令和3年度終了				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 文化財係 事務事業番号 136030102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
	1	文化財保護活用事業	2	「ふるさと文化遺産」登録・活用			政策的	
事業概要	評価が厳選される指定文化財以外にも、地域の財産として親しまれ大切にされている文化的財産は多くあり、一定の価値づけを行うことで、市民が誇りをもって広く紹介し活用を図ることが可能となる。本制度を通して、そうした価値づけを行い、市民のアイデンティティ確立とあわせ、ふるさと学習での活用を図る。令和2年度登録した「山陽道」の冊子を、令和3年度に印刷発注し、活用を図る。				対象	文化的財産		
					手段	調査研究、情報収集により資料作成後登録。登録後活用を地域、学校等幅広く設定		
					意図	文化的財産の価値づけ、保護・活用、市民の郷土愛の醸成		

事業期間	R3 年度	～	R8以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)			R4(予算額)	
支出内訳					印刷製本費	99千円	印刷製本費	99千円
	合計					99千円		99千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				販売収入	10千円	販売収入	99千円
	一般財源					89千円		
	合計					99千円		99千円
人工数	人件費				0.35人	2,024千円		
総経費						2,123千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	ふるさと文化遺産への登録 (カテゴリー単位で行う)	成果	1件	1件	1件	0件
			0件	1件	1件	
			0%	100%	100%	
2	ふるさと文化遺産をテーマにした地域、学校、団体との連携事業の実施回数	活動		8回	10回	10回
				8回	10回	
				100%	100%	
3	ふるさと文化遺産ファイル販売数	活動		100冊	200冊	200冊
				176冊	20冊	
				176.0%	10.0%	

成果	地域、学校、団体と連携した活動回数も目標を達成し、市内外の多くの方に、ふるさと文化遺産を知ってもらい郷土愛の醸成と、学びが深まる機会となった。また令和3年度末にふるさと文化遺産「窯のまち」を新たに登録した。				
R5年度に向けた課題及び改善策	新規登録に向けては情報収集や調査研究に相当の時間を要するため、計画的に準備を進める必要がある。活用については、より多くの市民に関心を持っていただくため、積極的に情報発信をし、幅広い世代への働きかけを行う。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	山陽小野田市ふるさと文化遺産登録6件(寝太郎、竜王山、小野田セメントと笠井家、高泊開作、山陽道、窯のまち)				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 歴史民俗資料館 事務事業番号 136030302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用			
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分	
3	文化財保存展示事業(歴史民俗資料館)	2	歴史民俗資料館管理運営事業(企画展)					政策的	
事業概要	令和3年度は、企画展「山陽小野田のスポーツ史」、「発掘された山口巡回展」、「厚狭毛利家家臣のライフサイクル」、「火とともにある暮らし～昔の道具展～」、講演会「民具と地域研究～民具と伝承～」、「五輪と平和～今、戦後オリンピックを通して考える」を開催した。また新たな体験教室として埴輪づくりを開催した。							対象	市民、県民、歴史愛好家
								手段	企画展・講演会の開催
								意図	市の歴史を様々な角度から紹介し、市民には郷土愛を育み、市外の人には本市に関心を持ってもらう

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)			
支出内訳	講師謝礼	22千円	消耗品費	127千円	講師謝礼	45千円	講師謝礼	30千円		
	普通旅費	11千円	印刷製本費	50千円	普通旅費・通行料	18千円	普通旅費・通行料	36千円		
	消耗品費	109千円	通信運搬費	24千円	消耗品費	729千円	消耗品費	778千円		
	印刷製本費	147千円	手数料	17千円	印刷製本費	350千円	印刷製本費	363千円		
	通信運搬費	89千円			通信運搬費	88千円	通信運搬費	110千円		
	手数料	65千円			手数料	53千円	図書購入費	20千円		
					図書購入費	19千円				
合計	443千円		218千円		1,302千円		1,337千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金繰入金	400千円	ふるさと支援基金繰入金	218千円	ふるさと支援基金繰入金	1,294千円	ふるさと支援基金繰入金	1,328千円	
	一般財源		43千円			その他	8千円		9千円	
	合計	443千円		218千円		1,302千円		1,337千円		
人工数	人件費	0.65人	2,121千円	1.54人	4,021千円	1.40人	3,707千円			
総経費	2,564千円		4,239千円		5,009千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R1	R2	R3	R4
1	企画展・講演会の開催回数	6	6	6	6
		6	3	6	
		100%	50.0%	100%	
2	企画展・講演会の来場者数	3,300	3,400	3,500	3,500
		2,943	1,464	3,599	
		89.0%	43.0%	103.0%	
3					

成果	令和3年度のメインとして開催した企画展「山陽小野田のスポーツ史」は、これまでの歴史愛好家だけでなく、スポーツに親しんでいる方や様々な年代の方が初めて歴史民俗資料館へ来館するきっかけとなった。また講演会を企画展内容と関連させることで、より理解を深めてもらうことができた。新たな試みとして、夏休みれきみん体験教室「埴輪づくり」を開催、子どもたちが文化財や歴史について学べる機会となった。				
R5年度に向けた課題及び改善策	新たに収集した古文書の解説を進め、地域の歴史について市民が理解を深められるよう紹介する。多くの収集資料を整理調査することで、これまで展示したことのない資料を企画展に活用する。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	令和3年7月3日～12月26日 山口ゆめ回廊スタンプラリー 令和3年8月23日～9月26日 新型コロナウイルス感染症対策として休館				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 137020101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	37	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	スポーツによるまちづくり推進事業	1	レノファ山口とのパートナーシップ事業	1-1	(1)		政策的
事業概要	スポーツによるまちづくりと市民の一体感醸成のため、本市を練習拠点とするプロスポーツチームであるレノファ山口を活用し、選手による園児等とのスポーツ交流事業などを実施します。選手やスタッフ等と市民が交流する場を作ることにより、市民の一体感の醸成を促し、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進します。また、若者会議からの提案に基づき、練習拠点であるサッカー交流公園周辺への幟旗の設置を行います。				対象	市民	
					手段	市民(保育園、学校等)を対象にしたスポーツ交流事業等の実施	
					意図	スポーツによるまちづくりの推進	

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)			R2(決算額)			R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳	スポーツ教室事業委託料	600千円		スポーツ教室事業委託料	600千円		スポーツ教室事業委託料	600千円	スポーツ教室事業委託料	600千円
							消耗品費	194千円	消耗品費	200千円
	合計		600千円			600千円			794千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	100/100	600千円	ふるさと支援基金	600千円				ふるさと支援基金	800千円
	一般財源					千円		794千円		
合計		600千円			600千円			794千円		800千円
人工数	0.00人	千円		0.15人	869千円		0.30人	1,735千円		
総経費		600千円			1,469千円			2,529千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	交流行事の実施回数	活動	12回	12回	15回	15回
			17回	9回	8回	
			141.7%	75.0%	33.3%	
2	交流事業に参加した人数	活動	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人
			1,996人	341人	267人	
			99.8%	17.1%	13.4%	
3						

成果	コロナ禍において、選手やスタッフと直接交流する機会を確保することができませんでした。				
R5年度に向けた課題及び改善策	社会の状況を注視しながら、以前のように選手・スタッフとの交流が図られる事業の実施を進める必要があります。社会課題の解決についてはレノファと行政で連携しながら、またレノファを核として民間事業者との連携も推進する必要があります。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 137020102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	37	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	スポーツによるまちづくり推進事業	2	キャンプ誘致推進補助事業	1-(1)			政策的
事業概要	東京2020オリンピック競技大会及び東京2020パラリンピック競技大会の競技種目に係るナショナルチームが行うキャンプの誘致を推進し、本市のスポーツ振興、地域の活性化、情報発信等を図るため、予算の範囲内において補助金を交付します。 ※令和2年度に実施予定であったが、オリンピック・パラリンピックが延期となったため、令和3年度に改めて実施しました。パラリンピック終了後は、「パラサイクリングのまちPR事業」でパラサイクリング競技への支援を継続します。				対象	オリンピック等の競技種目に係るナショナルチーム	
					手段	キャンプの誘致	
					意図	スポーツによるまちづくりの推進	

事業期間	H30以前	年度 ~	R3	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)			R3(決算額)		R4(予算額)		
支出内訳	キャンプ誘致推進事業補助金	1,500千円	キャンプ誘致推進事業補助金		キャンプ誘致推進事業補助金	1,000千円			
	合計	1,500千円				1,000千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	100/100	1,500千円	ふるさと支援基金					
	一般財源					100	1,000千円		
合計		1,500千円				1,000千円			
人工数	0.00人		0.16人	927千円	0.30人	1,735千円			
総経費		1,500千円				2,735千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	ナショナルチームの合宿回数	活動	3回	2回	2回	
			2回	0回	1回	
			66.7%	0%	50.0%	
2	交流行事の実施回数	活動	6回	4回	4回	
			4回	1回	3回	
			66.7%	25.0%	75.0%	
3						

成果	東京パラリンピックの直前に合宿を誘致し、埴生小学校の児童との交流を行うことができました。コロナの影響もあり市民との交流は実施できませんでした。				
R5年度に向けた課題及び改善策	東京パラリンピック後においても引き続き日本パラサイクリング連盟との連携を継続するため包括連携協定を締結しました。キャンプについて、レース場の開催状況と調整しながら年2回の誘致を進めていく予定としています。※事業は統合				
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 137020103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	37	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	スポーツによるまちづくり推進事業	3	パラサイクリング支援の輪拡大事業		1-(1)	交流 運動	政策的
事業概要	パラサイクリングの主要競技の一つであり象徴的な機材であるタンデム自動車の体験会を実施し、パラサイクリングの魅力や本市とナショナルチームとの関わりの紹介を通じて、パラサイクリングを支援する人の輪を拡大します。また小学校等での出前講座の実施により、パラサイクリングに対する市民への周知を図ります。 【体験会】初心者向け 4回、中級者向け 2回				対象	市民に限らず、パラサイクリングや自転車に興味のある人	
					手段	タンデム自転車体験会の実施、パラサイクリングナショナルチームの紹介	
					意図	パラサイクリング及びナショナルチームのファンの拡大、本市のPR、障がい者スポーツへの理解促進	

事業期間	R1	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R1(決算額)		R2(決算額)				R3(決算額)			R4(予算額)	
支出内訳	報償金	303千円		報償金		報償金			報償金	86千円
	消耗品費	58千円		消耗品費		消耗品費	12千円		消耗品費	52千円
				修繕料		修繕料			修繕料	17千円
	保険料	41千円		保険料		保険料			保険料	45千円
	著作権等使用料	5千円		著作権等使用料		著作権等使用料				
	機械器具費	303千円		機械器具費		機械器具費			機械器具費	200千円
合計		710千円					12千円			400千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	100/100	710千円	まちづくり魅力基金					ふるさと支援基金	200千円
	一般財源						12千円			200千円
合計		710千円					12千円			400千円
人工数	0.00人			0.16人	927千円	0.10人	578千円			
総経費		710千円					590千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	タンデム自転車体験会・出前講座	活動	6回	6回	6回	6回
			5回	0回	2回	
			83.3%	0%	33.3%	
2						
3						

成果	パラサイクリング日本ナショナルチームのキャンプに合わせ、埴生小学校の児童へのタンデム自転車体験会を実施しました。				
R5年度に向けた課題及び改善策	パラサイクリング連盟との協定を基に市民からの支援の輪が広がるような事業の実施が必要です。単独の事業ではなく他のイベントと連携して実施することで効果的な周知活動を行います。令和4年度にタンデム自転車を1台整備する予定としており、次年度以降もう1台の整備を図り、市民が利用しやすい環境をつくります。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	現状維持	
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 137020104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	37	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	スポーツによるまちづくり推進事業	4	パラサイクリングのまちPR事業	1-(1)		政策的
	東京2020パラリンピック開催までに、市民等がパラサイクリングを応援する機運を最大限に高めるため、市内の様々な場所や機会を捉え、集中的にPRを行います。聖火リレー時に講演会を開催するほか、パラリンピック開催前の壮行会及び開催後の報告会を開催し情報発信を行います。また、パラリンピック会場へ職員を派遣し日々タイムリーな情報を提供することで、市のホームページやSNS、地元メディアを通じてより多くの市民に周知し、市民が一丸となって応援できる体制づくりに努めます。 ※パラリンピック開催日程(トラック競技 8/25～8/28:伊豆ベロドローム、ロード競技 8/31～9/3:富士スピードウェイ)				対象	市民に限らず、パラサイクリングや自転車に興味のある人	
					手段	ポスター・横断幕掲示によるパラサイクリングナショナルチームの周知	
					意図	パラサイクリング及びナショナルチームのファンの拡大、スポーツ振興、地域の活性化	

事業期間	R2 年度	～	R3 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳			講師謝礼		報償費	76千円	合宿誘致事業補助金	1,000千円
			普通旅費		普通旅費	2千円	市民との交流事業委託金	500千円
			消耗品費		消耗品費	294千円	消耗品費	100千円
			印刷製本費		印刷製本費		印刷製本費	50千円
			スポーツ教室事業委託料		スポーツ教室事業委託料	500千円	保険料	50千円
			デザイン委託料					
			会場借上料					
合計						872千円		1,700千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他			ふるさと支援基金			ふるさと支援基金	1,700千円
	一般財源					872千円		
合計						872千円		1,700千円
人工数 人件費			0.00人		0.30人	1,735千円		
総経費						2,607千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	ポスターの作成・配布	活動		500枚	500枚 0枚 0%	
2	横断幕の掲示	活動		3箇所	3箇所 4枚 133.3%	
3	壮行会・報告会の開催	活動		各1回	各1回 各1回 100%	

成果	東京2020パラリンピックでのパラサイクリング日本ナショナルチームの活躍を市民の皆さんと共有することができ、パラサイクリングのまちとしてこれまでの支援活動の成果をつなげることができました。				
R5年度に向けた課題及び改善策	パラサイクリングを通じて市民がつながり地域の活性化につながる事業を連盟に実施してもらい、障がいのある方もスポーツを楽しむことができる環境をつくる必要があります。				
目標達成度	C	R5年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項	※キャンプ地誘致事業と事業統合				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 137020105

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	37	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	スポーツによるまちづくり推進事業	5	聖火リレー実施事業				政策的
事業概要	オリンピック聖火は、平和や希望の象徴とされ、オリンピックムーブメントの中でも最も力強く、聖火ランナーがリレーにより全国をつなぐイベントで、本市においてもオリンピック・パラリンピックを身近に感じられる貴重な機会と捉えています。実施に向けたルート選定や諸準備、更には聖火ランナーの選出、セレモニーの開催など聖火リレーを円滑に進めていくための県実行委員会の運営に対し、県及び県内19市町で負担金を支払うものです。市のイベント経費等についても計上します。 ・走行路:(スタート)市立サッカー交流公園～(ゴール)トヨタカラー山口、山口トヨペット小野田店前					対象	市民
						手段	聖火リレーの実施
						意図	オリンピック・パラリンピックの機運醸成

事業期間	R1 年度	～	R3 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳	聖火リレー実施負担金	220千円	聖火リレー実施負担金	536千円	報償金	74千円		
					消耗品費	180千円		
					自動車借上料	3千円		
					聖火リレー実施負担金	1,762千円		
					備品購入費 庁用器具費	119千円		
	合計	220千円		536千円		2,138千円		
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	220千円		536千円		2,138千円		
合計	220千円		536千円		2,138千円			
人工数 人件費	0.35人	2,022千円	0.25人	1,449千円	0.26人	1,470千円		
総経費		2,242千円		1,985千円		3,608千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	東京2020オリンピック 聖火リレーの実施【山陽小野田市:2021年5月14日(金)】	活動		実施 延期 -	実施 実施 100%	
2						
3						

成果	多くの観客を沿道に集めることはできませんでしたが、無事に聖火リレーを実施することができました。パラリンピック終了後においては聖火リレーやパラサイクリング日本ナショナルチームの活躍を展示しました。				
R5年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	完了	コスト	R3
特記事項	令和3年度終了				

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 137020403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	37	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
4	スポーツ団体・指導者育成・支援事業	3	スポーツ推進委員ウェア支給事業				政策的
事業概要	スポーツ推進の核となる「スポーツ推進委員」に定期的(任期ごと)にウェアを支給します。 ※委員の任期は2年。 ※前回購入ウェア:ポロシャツ、ジャージ上下					対象	スポーツ推進委員
						手段	スポーツ推進委員にウェア支給
						意図	スポーツ推進委員の自覚を持つことでスポーツの振興を図ります

事業期間	H30以前	年度	～	R8以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
支出内訳	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)				
	消耗品費		594千円				消耗品費		408千円		
	合計		594千円						408千円		
財源内訳/割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源		594千円						408千円		
合計		594千円						408千円			
人工数	0.02人		116千円		0.00人			0.01人	58千円		
総経費			710千円						466千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	スポーツ推進委員数	活動	25人	25人	25人	25人
			25人	25人	25人	
			100%	100%	100%	
2	スポーツ推進委員が参加するイベント・行事	成果			5回	5回
					1回	
					20.0%	
3						

成果	委員の任期に合わせ、新しいウェアを購入しました。				
R5年度に向けた課題及び改善策	委員の任期に合わせ、新しいウェアを購入します。				
目標達成度	D	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R3年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 文化財係 事務事業番号 136030204

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	文化財保存整備事業	4	且の登り窯保存事業			政策的
	市指定文化財である且の登り窯は、本体の老朽化が著しく、煙突が破損している状態である。また覆屋が強風によりスレートの一部が破損・落下し、また老朽化により木製の柱の一部が腐食している状態である。このまま放置すると台風等により周辺住民に危険をもたらし、また指定文化財にも被害を与える恐れがあるため、令和2年度に緊急的に覆屋の修繕を実施し、数年に分けて計画的に修繕をしている。登り窯については、有識者の意見も聞きながら、今後の保存について検討する。				対象	文化財	
					手段	窯・覆屋の修繕	
					意図	劣化を防止し、適正な保存管理に努める	

事業期間	R2 年度	～	R7 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R1(決算額)		R2(決算額)		R3(決算額)		R4(予算額)	
支出内訳			修繕料	630千円	修繕料	497千円	修繕料	492千円
	合計			630千円		497千円		492千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			630千円		497千円		492千円
合計			630千円		497千円		492千円	
人工数	0.00人		0.15人	870千円	0.03人	174千円		
人件費		千円						
総経費			1,500千円		671千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R1	R2	R3	R4
1	覆屋の修理	活動		一部修理 完了 100%	一部修理 完了 100%	一部修理
2						
3						

成果	令和7年度まで、覆屋をブロックに分け、緊急を要する箇所から順次修繕を実施している。近隣住民や見学者への安全に配慮し、また史跡を雨風から守ることで、窯本体の適切な保存管理が出来ている。				
R5年度に向けた課題及び改善策	窯本体の保存をどのような手段で進めるべきか検討が必要である。				
目標達成度	A	R5年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	今後令和7年度まで、覆屋のスレートの取替え、母屋の取替えを実施予定である。				